

青梅市・第一回真冬のハナショウブ展について

青梅市：市川利和

私の花菖蒲促成栽培

自然休眠した花菖蒲を12月頃室内に取り込み、照明と加温で早春の環境を作り促成栽培で春先に咲かせたのは今から7年前、江戸古花の蒐集を始めた頃で、古花がどんな花か、品種に間違いはないか一日も早く見たかったのが最初で、山脇信正氏の「花菖蒲室内栽培法」を片手に、12月に部屋に入れテレビを観て一緒に笑っていたら3月初めには咲いてくれました。

2009年1月、葛飾区郷土と天文の博物館企画展「花の宴・堀切の夢」の記念講演・山脇信正氏「窓辺で手軽に咲かせる花菖蒲促成栽培」を聞き、「山脇氏に出来て俺に出来ない事は無い」と早速超促成栽培に挑戦したものの一輪も咲かず。翌年も挑戦するも、株が枯れ無残にも全滅しました。

原因も分析せぬまま氏の御指導により三度目の挑戦。石の上にも3年、2011年11月末花梗が伸び始め、蕾を染めたかと思うと3日程経ってほつれるように咲いた時の感動は、起居を共にした者にしか味わえない花菖蒲の美しさです。

真冬のハナショウブ展に向けて

真冬の花菖蒲に挑戦し3年目、ご指導の御蔭で花菖蒲咲く正月を迎えることが出来たばかりなのに、氏の熱心な勧めに無謀とも思える「真冬のハナショウブ展」を、山脇信正氏の全面的なバックアップにより青梅で開くことになりました。

2012年1月29日の総会時の役員会で日本花菖蒲協会の後援も頂き歩み出しました。

翌1月30日には山脇副会長の来青をお願いし、青梅市役所担当課長に「真冬のハナショウブ展概要」の説明をし、青梅市役所の賛同を得て本格的に動き出しました。

真冬のハナショウブ展の概要

1) 目的：吹上しょうぶ公園のガイドボランティア活動の市民へのアピール・花菖蒲及び真冬の花菖蒲栽培の普及を目的とする。

2) 期間：2013年1月21日～31日

3) 会場：市役所のエントランスホール

4) 主催：青梅市役所商工観光課

後援：日本花菖蒲協会

5) 出展者及び鉢数（6号鉢・盆養）

出展者は、日本花菖蒲協会：山脇信正氏・前田昭二郎氏・横内尚子氏・市民協賛者：永井照男氏始め吹上しょうぶ公園有志に出展により60鉢（6号鉢）が飾られ、予想を超える花菖蒲が咲き誇る綺麗な「真冬のハナショウブ展」となりました（下写真参照）。



初日の様子

当日は、9時から市役所・吹上しょうぶ公園ガイドボランティア・日本花菖蒲協会の会員協働で見事に飾り付けが終わりました。

午後13時30分からは日本花菖蒲協会副会長「山脇信正氏」の「花菖蒲に魅せられて」と題する講演会が開催され、40名の募集に対して50名を超える皆様が氏の講演に耳を傾けました。多くの皆様のご協力に心からお礼申し上げます。